故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む
	ランプが切れている	ランプを交換する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする （☞6ページ「壁スイッチで操作する」参照）
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する

左記の処置を行っても現象が続く場合

① 電源をいったん切り、再度入れる
② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③ 器具のチャンネルを変更する
（☞3ページ「リモコン受信器」参照）

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	84W（リモコンOFF時、1W以下）	FHD100(100形二重環形蛍光灯)

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！

ご使用の際、こんな症状はありませんか？	●コゲくさい臭いがする ●ランプを取りかえても正常に点灯しない ●器具に触れるとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障がある	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店にご相談ください。

保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
　ただし、蛍光灯器具内臓の安定器は3年です。
　※ランプ・グロー点灯管・電池の消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
　※２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。
○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期限内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　1.お買上げ後の取付け場所の設置、輸送、落下などによる故障および損傷
　2.施工上の不備に起因する故障や不具合
　3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
　4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
　5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
　6.日本国内以外での使用による故障および損傷
　7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
　1.保証期間内の場合
　　販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げ販売店までお申し出ください。
　2.保証期間を過ぎている場合
　　御買上げの販売店にご相談ください。
　　修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
○補修用性能部品の最低保有期間
　弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低６年間保有しています。
　※性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
○アフターサービスについてご不明な点(修理・取扱いのご相談)は、お買上げの販売店へお申しつけください。
　転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、
　1.修理のお問い合わせは、「修理窓口」へ
　東日本フロントセンター☎(03)3424-1111 東京都世田谷区池尻3-10-3
　西日本フロントセンター☎(06)6454-3901 大阪市北区大淀中1-4-13
　フリーダイヤル 0120-56-8634 インターネット www.melsc.co.jp
　2.その他のお問い合わせは、「ご相談窓口」へ
　お客様相談センター（フリーコール）
　(0120)139-365 東京都世田谷区池尻3-10-3

お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
　②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

三菱電機株式会社
製造会社 三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467)41-2729 FAX (0467)41-2786

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

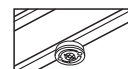
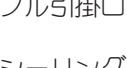
蛍光灯シーリング

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございました。

E762Z517G05
E762Z517H58

お客様へ

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくためにこの「取扱説明書」を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの「取扱説明書」を使用者さまにお渡しください。

形名　CPDZ10172E　CPDZ10172EL

保管用
施工説明付き

取扱説明書

安全上のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

禁止

■次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがの原因
・平面部が直径780mm未満の場所（例：下図）

・凹凸のある場所（例：下図）

・補強のない薄い場所（ベニヤ板、石こうボードなど）

・55度を超える傾斜した場所

●この器具は天井面取り付け専用です。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがの原因
・出しろの少ないもの

・シーリングハンガーが取り付けられたもの

・がたついたり、破損しているもの

・斜めに取り付けられたもの
・ケースウェイに取り付けられたもの

●工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。
（交換には電気工事士の資格が必要です。）

必ず守る

■交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電の原因

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがの原因

⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても
内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。（JIS C 8105-1解説による）
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「愛情点検」（8ページ）に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因
●工事店、電器店に調光器の取り外しを依頼してください。
（取り外しには電気工事士の資格が必要です。）

使用上のお願い

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
●電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物内など）では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞（ムービングストライエーション現象）が発生することがあります。
ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ（壁スイッチがない場合はブレーカ）をOFFにしてください。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。

付属部品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

●本体取り付け用付属部品

□ 配線器具（角型引掛シーリング(1個)）

□ 取付金具(1個) 本体止めネジ(2本)

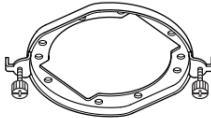
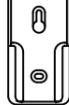
□ 木ネジ(4本)（引掛シーリング用 2本 取付金具用 2本）

●照明用リモコン付属部品

□ リモコン送信器(3CH) ダイレクト切替・調光用（1個）

□ リモコンボックス（1個）

□ 単3形乾電池（2本）

□リモコンボックス用木ネジ(2本)

●使用しない付属部品は大切に保管してください。引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

器具のチャンネルを変更する

リモコンのチャンネルを変更すると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。

①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す
②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：チャンネル1）
③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

（メモ）
●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。
（操作できる台数はリモコンにより異なります。）

リセット／チャンネル設定（ボタンを押して）／OFF/ONスイッチ（リモコン操作）／最初入設定（ピッ音で確認）
リモコン受信器
全灯 お好み 常夜灯 暗 明 消灯
② チャンネル 1 2 3

電池交換について

単3形乾電池（2本）

電池交換時期の目安
・乾電池は半年を目安に交換してください。

⚠注意	・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。 ・極性表示の通り⊕⊖を正しく入れる。 ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。 電池の破裂や液もれの原因

リモコンボックスについて

リモコンボックス
紛失防止用に壁掛け収納できます。
●リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。二重環形蛍光灯をお買い求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

1 カバーを取り外す
①カバーを左に回す
②カバーを外す

2 ランプを交換する
●取り外す
①ランプ口金側を外す
②支持バネ側を外す

●取り付ける
①ランプ口金をソケットに差し込む
②支持バネで固定する

3 カバーを取り付ける
☞5ページ「照明器具を取り付ける」手順 **5** 参照

⚠注意
・器具表示の指定W(ワット)数のランプ以外使わない 過熱して火災の原因 ・支持バネをランプに強く当てない ランプが破損してけがの原因 ・使用済みランプは不用意に割らない ガラスの破片が飛散してけがの原因

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

リモコン送信部
リモコン

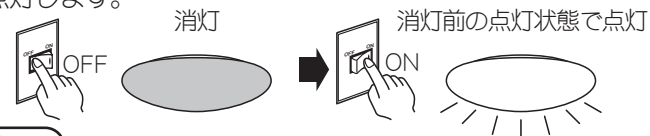
⚠警告
器具ランプを水洗いしない 火災・感電の原因

壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。
「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「お好みの明るさ」で点灯、
「LED」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「LED」で点灯します。

メモ

●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、 壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。

メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力（1W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

リモコンで操作する

壁スイッチを「ON」にして、器具に向けて操作してください

リモコン各部のなまえとはたらき

暗 ボタン
蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
　蛍光灯：100～ 約10％の明るさ
　ＬＥＤ ：6段階の明るさ

明 ボタン
蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
　蛍光灯：約10～100％の明るさ
　ＬＥＤ ：6段階の明るさ

メモ
●「お好みボタン」・「常夜灯ボタン」を押した後、「明/暗ボタン」で明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
（☞ 下記「お好みの明るさで点灯させる」参照）

消灯ボタン
消灯します。

チャンネルスイッチ
操作したい器具のチャンネル（1～3）に合わせて使います。
（☞ 7ページ「器具のチャンネルを変更する」参照）

全灯ボタン
蛍光灯が100％の明るさで点灯します。(注)
(注) 押したときの明るさを変えることもできます。
（☞ 下記「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照）

お好みボタン
明/暗ボタンで変えた明るさ(調光)で、蛍光灯が点灯します。
(お買い上げ時：約60％の明るさ)

常夜灯ボタン
明/暗ボタンで変えた明るさで、LEDが点灯します。
(お買い上げ時：100％の明るさ)
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

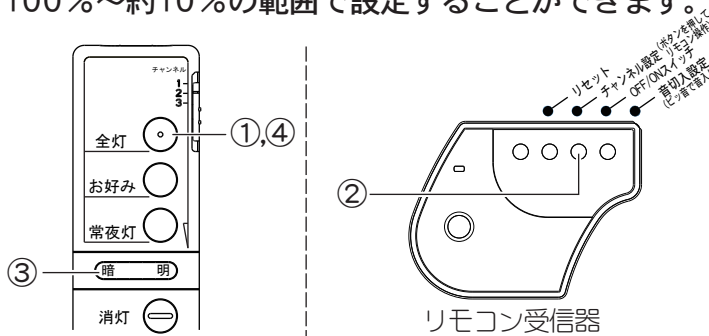
お好みの明るさで点灯させる

	操作		以後
蛍光灯	1 お好み ◯ を押す 2 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える	明るさ記憶	以後、再び左記の操作を行うまで お好み ◯ を押すたびに、2 で変えた明るさで点灯します。
ＬＥＤ	1 常夜灯 ◯ を押す 2 暗 明 でLEDの明るさを変える	明るさ記憶	以後、再び左記の操作を行うまで 常夜灯 ◯ を押すたびに、2 で変えた明るさで点灯します。

メモ ●リセットスイッチを押すと、蛍光灯、LEDともお買い上げ時の明るさに戻ります。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100％～約10％の範囲で設定することができます。

①リモコンの 全灯 ◯ を押す
②リモコン受信器のOFF/ONスイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける
③リモコンの 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える
④リモコンの 全灯 ◯ を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

リモコン受信器

各部のなまえとはたらき

照明器具

リモコン受信器

リセットスイッチ
動作が異常の場合に押します。(注)
☞ 8ページ「故障かな？と思ったら」参照
(注) 点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。
リモコンで設定する
①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
②器具に向けてリモコンのいずれかの
⇨ボタンを押す
「ピピーッ」と音がして設定完了
リモコンがない場合
OFF/ONスイッチを押す
⇨ チャンネル２（又はⅠ－２）に設定されます

音切入設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を切/入します。
「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」

OFF/ON スイッチ
押すごとに消灯/全灯します。

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
(☞ 7ページ「器具のチャンネルを変更する」参照)

リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
（傷つけたり、汚したりしないでください。）

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

取り付けできる配線器具

角型引掛シーリング
品番：WG1000

丸型フル引掛シーリング
品番：WG5005
WG5015

丸型引掛シーリング
品番：
WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

付属の取付金具の取り付けが必要です

補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で
取付金具を取り付ける

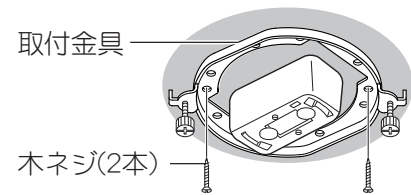
⚠警告	取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する 落下によるけがの原因

引掛埋込ローゼット
品番：WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番：WG6130

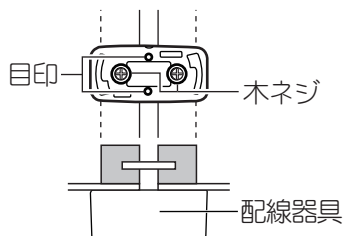
フル引掛
ローゼット
品番：WG6005

付属の本体止めネジの付け替えが必要です

1 取付金具に付いている本体止めネジを外す

2 ローゼットに本体止めネジを仮止めする

上記 5タイプ以外の配線器具

工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。
交換には電気工事士の資格が必要です。

同梱の配線器具に取り替える

⚠警告
目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付けてください。守らないと、落下によるけがの原因。

⚠警告

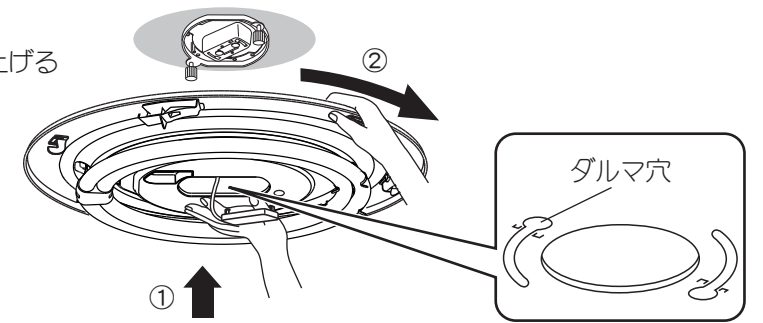
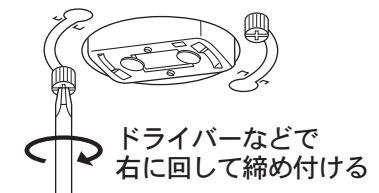
■配線器具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
落下によるけがの原因
●配線器具ががたつく場合は、配線器具を交換してください。

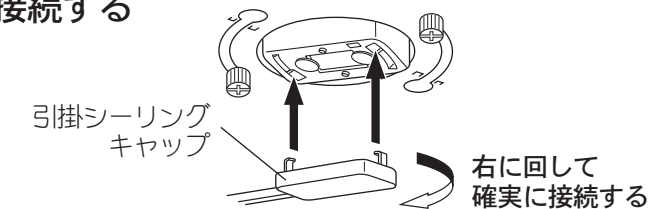
■配線器具の交換は工事店、電器店に依頼する
感電、落下によるけがの原因
●交換には電気工事士の資格が必要です。

・施工は電気工事士の有資格者が「電気設備の技術」・「内線規定」に従って行う。

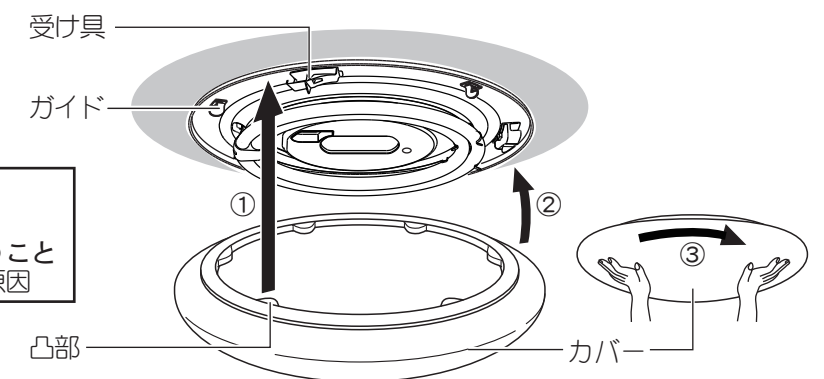
●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具（TK07）が必要です。

2 本体を取り付ける

①本体止めネジとダルマ穴を合わせて、押し上げる
②本体を右に回す

3 本体止めネジを締め付ける

確認
●取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。
●本体取り付け後、ランプがソケットから浮いていないか確認する。
➡浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

4 引掛シーリングキャップを接続する

5 カバーを取り付ける

①カバーの凸部を本体の受け具と
ガイドの間に合わせる
②カバーを持ち上げる
③カバーを右に回す

⚠注意	・取付け不完全は、 落下・けがの原因 ・カバーは丁寧に取り扱うこと カバーが割れてけがの原因

本体の外しかた

1 引掛シーリングキャップを外す

引掛シーリングキャップを
左に回して外す

2 本体を外す

本体止めネジをゆるめて、
本体を左に回す